

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 326

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	4. 衛生費 - 1. 保健衛 - 2. 予防費 現年		
事業名	健康増進事業				
細事業名	健康手帳・健康相談・健康教育・機能訓練				
評価表作成者				市民福祉部 保健医療課	小林 早苗

1. 事業の概要

生活習慣を改善し健康の保持増進を行うため、健康づくりについての学習の場を提供し、健康相談・健康教育を実施した。
心身に障がいのある方を対象にリハビリ教室を実施した。
生活習慣病の予防や療養上、保健指導が必要な方に専門職が訪問を実施した。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

市民が自分の健康を自分で守る為に健康に関する知識の普及を図り、実践できる環境づくりをすすめる。生活習慣病など病気の予防を図ることで、医療費の削減にもつながる。

②事業を実施する必要性

健康に対する知識や実践方法を普及させる為に事業を実施する必要がある。
介護予防のために、機能訓練を実施する必要がある。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	4,306	4,213	2,871	2,520	3,990	4,200	4,200
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	1,070	1,367	670	471	1,386	14,000	14,000
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	2,067	1,919	1,772	1,761	3,363	3,363
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,239	2,294	1,099	759	627	837
職員等の従事人員	人/年	—	1.91	1.34	1.56			
人件費	千円	—	9,945	8,463	9,388			
事業費総額	千円	—	12,791	10,664	11,437			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

健康手帳 25,000円（印刷製本）
健康相談事業367,801円（賃金、消耗品、修繕料、役務費）
機能訓練事業1,299,392円（報償費、賃金、消耗品、役務費、委託料等）
健康教育事業788,471円（報償費、賃金、消耗品、役務費、委託料）
訪問指導 39,475円（消耗品）

5. 事業結果の概要

健康教育、健康相談、訪問指導等の健康増進事業を通じて、健康に対する知識や実践方法の普及を図ることができた。
健康手帳の交付109人
健康相談90回実施 延べ952人
健康教育72回実施 延べ823人
機能訓練30回実施 延べ108人
訪問指導200人。

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

健康教育の対象者選定方法を工夫し、参加者増につながった。対象者と実施場所の選定については今後も実績を考慮しながら計画していきたい。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

健診後のフォローとして実施した身体リセット教室について、参加者が数名と大変参加率が低調で対費用効果が低いと思われる。各保健センターで実施したが、実施箇所を集約するなどして効率化を図る必要がある。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
国保事業の特定保健指導含め、市民全体の健康教育等を視野に入れ、健診結果からの体系作りを協議した。
- ②当該事業のアピール事項
健康教育・健康相談等では手作り媒体を使用し、個別・集団・地域等状況に応じた内容にしている。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
社会環境の変化と共に健康づくりは個人だけでは達成困難な状況である。本事業にとどまらず、広く健康環境改善の取り組みを勧めたい。